

指宿市
伝統文化
フェスティバル



開間神舞保存会



川尻楼踊り保存会

第3回 指宿市 伝統文化 フェスティバル



川尻楼踊り保存会



2024
12/7 (土)

指宿市民会館
ふれあいプラザなのはな館敷地内

入場無料
いぶすき産業まつり同日開催

◆ 伝統文化体験コーナー
衣装撮影・DVD上映
時遊館 COCCO はしむれグッズ販売
12:00-15:00

◆ 舞台部門
13:00-15:00 (開場 12:30)

◆ 抽選会
15:00 ~



是非お越しください
お待ちしております

12月7日 (土曜日)
いぶすき 同日開催!!
産業まつり

Check!

クボボ、クボボが ツキナッ、
シツラベガ ボロボ、
ハナヨメゾハ イッドニドハッスンナ

月セキツ 利永仁

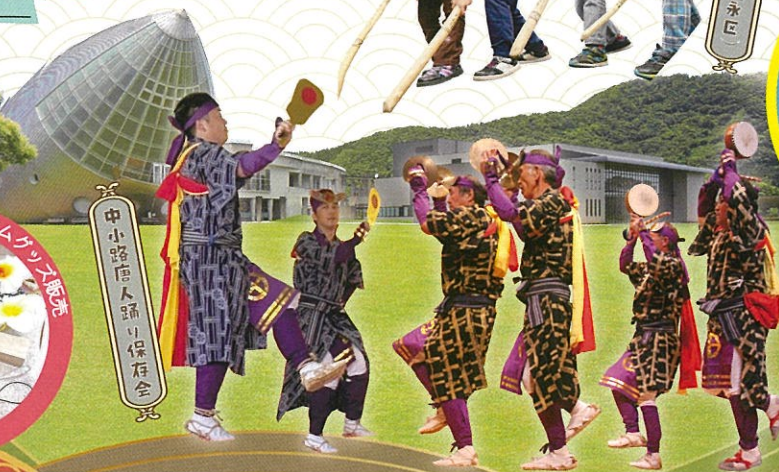


指宿市青年振興連絡協議会



時遊館 COCCO はしむれミュージアムグッズ販売

中小路唐人踊り保存会



Facebook



Instagram

主催：指宿市・指宿市教育委員会・指宿市郷土芸能保存会 助成：一般財団法人地域創造
お問合せ先：指宿市教育委員会生涯学習課 文化財係 (指宿市考古博物館 時遊館 COCCO はしむれ内) 電話 0993-23-5100

出演者紹介

中小路唐人踊り保存会



中小路唐人踊りは、江戸時代の琉球使節団との交流から生まれたと伝えられる、異文化情緒の溢れる郷土芸能です。保存会によると、あるとき、琉球使節団が船で帰る途中、暴風雨に遭い、命からがら現在の山川港に避難したそうです。天候が回復せず、避難生活が長期間に及び食糧が尽きそうになったため、琉球の人々は、指宿や喜入前之浜方面に分宿したとのこと。琉球王国の使者が避難先で披露した踊りが、現在まで伝承されたと伝えられています。歌詞の意味はわからない部分が多く、琉球の言葉聞き、覚えたためではないとも言われます。

川尻棒踊り保存会



棒踊りは田歌や示現流棒術から生まれた鹿児島独特の芸能であり、島津忠良(日新公)が庶民の忠誠心を培うために踊らせたものといわれています。川尻では、戦時中一時途絶えていましたが、終戦後の昭和26年に青年団が復活させ、その後郷土芸能として保存会を結成し受け継がれています。

古くから漁師町として栄えた川尻ならではの、非常にテンポの速い立ち回り、活気に溢れた踊りが特徴です。

開聞神舞保存会



「南方の舞」

薩摩国一の宮である枚聞神社では、毎年10月14日の夜、ほぜ祭の前夜祭で「神舞」が奉納されます。かつては、神社の氏子が舞手となり奉納していましたが、後継者不足となり昭和50年代から当時の開聞町青年団が引き継ぎました。

現在は、地元の有志の方々が、保存継承活動に取り組んでいます。

今回は、「南方の舞」と「浦安の舞(扇の舞)」を披露します。舞手をつける、江戸時代から伝わる神楽面にもご注目ください！



「浦安の舞」(扇の舞)

ダセチッ (利永区)



利永区の「ダセチッ」は、「嫁女祝(ヨメジョユエ)」として指宿市内で唯一継承されている、貴重な伝統行事です。

1月14日、前年に結婚した新婚家庭に、子どもたちが「ダセッポー」を持って祝福に訪れます。子どもたちは「ダーセン ケボボ…」と祝い言葉を唱えながら、ダセッポーで地面を突き、子孫繁栄を祈るのです。かつては、市内の各集落で行われ、ハラメウチ、ハラメユエ、ダセッポーウチなどと呼ばれていました。

かつては「ダセチッ」と合わせて、実のなる木をダセッポーで叩く「ナレナレ」と呼ばれる行事も行われていたのだそうです。

指宿市青年振興連絡協議会 お囃子部



指宿市青年振興連絡協議会(通称「青振連」)お囃子部は、指宿温泉祭、寶宿祭を中心に活動しています。千葉県匝瑳市の「萬町親和会」との交流でお囃子の技術を指導いただいたのがその由来です。

お囃子が指宿市の誇りある伝統文化となることが目標です。

開聞中学校2年生

昔話紙芝居「開聞岳はけんか好きか」



指宿のシンボルでもある開聞岳。その昔、南の硫黄島や西の金峰山と大げんか?!果たしてその結末は.....

“あったこっかなかったこっかしつちよいもんそ...まああったこちして聞いてくいもす”

中学生による、鹿児島弁での読み聞かせです!ぜひ会場でご覧ください!

